

いつも疲れた顔してるなあ

遅刻が多いなあ

授業中よく寝てるなあ

もしかしたら...

かも?!

日頃、家族のサポートしている

ヤングケアラー



運営：NPO 法人 ふうせんの会

家族のケアをする子どもは『ヤングケアラー』
「2021ユースキャン新語・流行語大賞」にノミネートされるなど、
近年社会問題として注目されています。

厚生労働省による全国調査では、
家事・きょうだいのお世話・介護・精神疾患を持つ親などのケアを
している中高生が17人〜20人に1人、つまり
クラスに1〜2人いることが明らかになりました。
また、大阪市の中学生を対象とした調査では、9.1%、
約10人に1人がヤングケアラーであることも分かっています。

子どもにとっては当たり前の日。

本人も気づいていない、周りの大人が気づきにくいことでもあるので、
実際にはもっといるかもしれません。

- ・自分の時間がもてない
- ・なぜか体調がすぐれない
- ・授業中居眠りをしてしまう
- ・宿題ができない
- ・遅刻をしてしまう
- ・ダメな生徒と先生に思われてしまう
- ・誰にも話せない、話せる人がいない

そんなことを思いながら人知れず家族のケアを担っている
『ヤングケアラー』に周りの大人たちが思うこと。
それは…

「ケアから離れられる時間を作ってあげたい。」
「ひとりで抱えこまないで相談してほしい。」

そんな想いから

大阪市ヤングケアラーへの寄り添い型相談支援事業を
スタートいたしました。

家族のケアをしてきたスタッフなどが一緒に考える
YCBピアサポ相談や、

同じ体験してきた方たちとの意見交換ができる
オンラインサロン、

その他にも当事者向けのイベントなどを企画しています。

ヤングケアラー

YCピアサポ相談

Peer(仲間)がサポート

ヤングケアラーかも?と思う中高生が周りにいたらご相談ください。
家族のケアをしてきたスタッフや福祉の専門職が話を聞き、アドバイスします。



相談方法 下記のいずれかご希望に合った方法でご相談ください。

- ①対面
- ②オンライン(Zoom)
- ③電話

平日 10時~18時

対面場所 大阪ボランティア協会 CANVAS
最寄駅: 地下鉄・京阪、天満橋駅

※①・②をご希望の方は、電話やメール、SNS等で相談したい日時をご連絡ください。

- ④メール
- ⑤SNS(LINE、Twitter)

24時間対応

※18時以降のご連絡については、翌日以降にお返事します。

06-4790-8833

pia_osakacity@ycballoon.org



必要なときは サポートも!!

- ▶ 役に立つ制度やサービスについて教えます。介護保険制度、障がい福祉、保育サービス、経済的支援、学習支援など
- ▶ **同行支援** 書類を作成するお手伝いや行政などの窓口へ同行して、様々な手続きをサポートします。

※いずれも、費用は一切かかりません。

利用者の声

宇宙でこんな事をしているのは私だけだろうと思っていただけ、同じ思いをしている人がこんなにいるっていうことを知ってほっとした。



自分がヤングケアラーかどうか分からなかったけど、実際に自分の話をしてみると話したかった自分に気がついた。話せてスッキリした。



ケアをしていたことで自分の時間を持ていなかったけど、ヤングケアラーの集まりに参加してみて、自分の事を振り返り考える時間ができた。大学へ行こうと思えた。



お問合せ

特定非営利活動法人

ふうせんの会

https://ycballoon.org

ふうせんの会は、家族のケアを担っている(いた)子ども・若者や、ヤングケアラーに関わる専門職が集まってできた団体です。

2019年12月に任意団体として活動を始め、

2022年2月にNPO法人を設立しました。

ヤングケアラー・若者ケアラーが安心して交流できる場をつくり、

彼らが夢をもって自分らしく生きていけるような社会を作るために、活動しています。



ホームページ

06-4790-8833

pia_osakacity@ycballoon.org

〒540-0012

大阪府中央区谷町二丁目 2-20 2階 市民活動スクエア CANVAS 谷町 F09 (大阪ボランティア協会 CANVAS)



オンラインサロン

要予約

「家族のケアをしている中高生と話してみたい」
「家族のケアをしてきた人たちの話を聞きたい」



ヤングケアラーの中高生たちが集まって語りあう場所を設けています。
(元)ヤングケアラーの奮闘記を聞いたり、自分の時間を持てるための知恵を出しあったりしています。

Zoomにて毎月1回開催
開催日はホームページ & Twitter に記載

参加方法 HP、メール、SNSからお申込みください。

ニックネーム(本名なし)での参加、また画面オフでの参加OK!



「ヤングケアラー」のこと知っていますか？

ヤングケアラーとは「家族のケアを担う子ども・若者たち」のことです

日本にはまだ定義がありませんが、概ね、「病気や障がいがある、高齢である、幼い、日本語を第一言語としない等の理由で、サポートが必要な家族がいて、そのために家事、介護、感情的サポート、きょうだいの世話、通訳などを行っている子ども」のことを指します。



高齢の家族の話し相手・見守り・介護をしている



身体が不自由な家族の外出に付き添っている



精神障がい・アルコール依存症等精神不安定な親の話を聞いている



家事をしている・病気を抱える親のお世話をしている



年下のきょうだいをお世話している



家族の通院に付き添っている



障害や病気を有するきょうだいの見守り・お世話をしている



家族の通訳(日本語・手話など)をしている

それに加えて「働いて家計を助けている」など

©ヤングケアラー研究チーム
イラスト：FMCイラスト工房 多田文彦

「ヤングケアラー」は様々な悩み・問題を抱えています

学校生活への影響

忙しさ、疲れから遅刻、欠席、授業中の居眠りに、家で勉強できないことから宿題忘れ、成績不振につながることもあります。そうしたことから、先生との関係に影響が出る場合もあります。

学校が楽しくない



健康面への影響

情緒不安定、慢性的疲労、摂食障害など精神的健康、身体的健康に影響が出る場合もあります。

孤立・孤独「誰にも話せない」
うまく事情を説明できない

友人関係への影響

家ではケアにほとんどの時間を充てていることもあり、友達と話が合わない、部活動でトラブルが起こる、学校が終わるとすぐに家に帰るため友達の誘いをいつも断り、人間関係がうまくいかなくなる等の悩みを抱えることもよくあります。

▶ いじめにつながることも



●親子関係の逆転・「親」の欠如 ●衛生面・栄養面の問題も

「ヤングケアラーかも？」と思ったら、 「ふうせんの会」をご紹介ください。

ふうせんの会は、家族のケアを担っている(いた)子ども・若者や、ヤングケアラーに関わる専門職が集まってできた団体です。2019年12月に任意団体として活動を始め、2022年2月にNPO法人を設立しました。ヤングケアラー・若者ケアラーが安心して交流できる場をつくり、彼らが夢をもって自分らしく生きていけるような社会を作るために、活動しています。




ふうせんの会のビジョンには、**ヤングケアラー・若者ケアラーが当たり前「生きる」ことができる社会、**
そして**ヤングケアラー・若者ケアラーの価値が「生きる」社会を目指すという2つの意味**があります。

ふうせんの会の主な活動

1 つどい

現役または元ヤングケアラー・若者ケアラーが集まり、ケア経験を共有したり、フリートークする場です。他の人の話を聞くだけでも参加することができます。

 オンラインでも参加可能です。
(ZOOMを使用します)

日時 奇数月の第2日曜 午後1時半～3時半

※開催月によって会場が異なります。

場所 大阪歯科大学牧野キャンパス
(枚方市「京阪牧野駅」から徒歩7分程度)

ダイビル本館4階
(京阪中之島線 渡辺橋駅2番出口より徒歩1分
地下鉄四つ橋線 肥後橋駅4番出口より徒歩6分)

2 ふうせんカフェ

ZOOMを用いてオンラインで行うおしゃべり会です。少人数の現役または元ヤングケアラー・若者ケアラーが集まり、運営メンバーと一緒におしゃべりします。

日時 偶数月の第3水曜 午後7時半～8時半



3 相談する

元ヤングケアラーや社会福祉士等の専門職がお話を伺います。秘密は必ず守り、聞いた話が他の人に知られることはありません。教員や専門職からの相談も受け付けます。

ふうせんの会 大阪府中央区谷町二丁目2-20 2階
市民活動スクエア CANVAS谷町F09

 ふうせんの会HPはこちら
<https://ycballoon.org>



 ふうせんの会 X はこちら
https://twitter.com/yc_balloon



特定非営利活動法人 **ふうせんの会**

〒540-0012 大阪府中央区谷町二丁目2-20 2階
市民活動スクエア CANVAS谷町F09

TEL 06-4790-8881
URL <https://ycballoon.org>



本チラシは、「令和4年度大阪府福祉基金」・
「令和5年度地域の子どもの福祉のための
助成」を受けて作成しました

発行 令和5年11月

NEWS LETTER



ふうせんの会 シンポジウム開催のご報告

ヤングケアラー・若者ケアラーに心のつながりを



2月13日(月)枚方市総合文化芸術センター関西医大・小ホールにて、当会主催(枚方市共催)のシンポジウム「ヤングケアラーが『いきる』社会をつくる」を開催しました。

当会がシンポジウムを開催することは初めての試みであり、平日の日中開催ではありませんでしたが、会場とオンラインを併せて23名ほどの方がご参加くださいました。ご参加くださったみなさま、本当にありがとうございました。

シンポジウムでは前半に当会の代表理事である濱島淑恵より、ヤングケアラーに関する概説と当会の活動について講演をさせていただきました。

後半では、当会の当事者メンバー、現場でヤングケアラー支援に携わっていらっしゃる株式会社チャーム・ケア・コーポレーションの河端久徳様、枚方市社会福祉協議会の松下友紀様、



スクールソーシャルワーカーの黒光さおり様にそれぞれの活動についてご報告いただきました。その後のパネルディスカッションでは、当シンポジウムのテーマである「ヤングケアラーが『いきる』社会をつくる」について話し合いました。

終了後にはありがたいことに、多くの参加者様から「当事者の声を聴くことの重要性を実感しました」などの感想をいただき、当シンポジウムは盛会のうちに終えることができました。

私たちにとっても、当事者の声を届けていく必要性を改めて実感する機会となり、これもひとえにみなさまのご支援・ご協力のおかげと心より感謝しております。



次回は8月に、流しそうめんやかき氷、スイカ割りなどの夏祭り風イベントを開催予定です。
※こちらは大阪市ヤングケアラーへの寄り添い型相談支援事業で行っています。

第1回 レスパイトイベントを 開催しました!

ふうせんの会では今年度から、子どもたちが日常のケアを離れて楽しい時間を過ごすことを目的とした「レスパイト事業」を行っています。レスパイトとは「小休止」を意味しており、忙しい毎日の合間に少しでも子どもらしい時間を過ごしてもらえたらという思いで開催しています。

第一回はお試し版として、ゴールデンウィークにすでに繋がりのある中高生を事務局に招いてピザパーティーをしました。自分たちでいろいろな具やソースをのせて好みのピザを作って美味しく実食。ほかにもスライム作り体験をしたり、カードゲームをしたり。時間が足りないくらいの盛りだくさんの内容になりました。

参加者からも「楽しかった!」のお声をいただき、スタッフ一同も喜んでます。



運営メンバー紹介

今回はふうせんの会で活動する元ヤングケアラーメンバーを紹介いたします。

次回以降も順次、会報で運営メンバーの紹介をしていきますのでお楽しみに---

Q.
あなたにとって
「ふうせんの会」とは
どんな場所ですか?



川崎 大介
(運営メンバー)

母を亡くして全てを失った僕に、再び生きる意味を与えてくれました。大切な居場所です。



高岡 里衣
(事務局スタッフ)

自分の一番強みにあふれた家族のケア経験を生かせる、そんな仲間がいる場所です。



原田 伊織
(運営メンバー)

ふうせんの空気のように、気さくチャットしてくれて、明日も頑張ろうと思える場所です。

新入社員の紹介

今年の5月から、三島俊祐が新たな職員として「ふうせんの会」事務局に加わりました。今の心境とヤングケアラー支援への思いを聞いてみました。



Q:どのような思いでふうせんの会に入職しましたか？

僕は大学生の頃、母親の身体的なケアと家族の相談役をしていました。そうした元当事者としての経験をどこかで活かす機会があればと思うていたんです。僕と似たような経験や思いを抱えている子どもたちに対して、一緒に考えたいと思っていました。

そんな中、一番初めに参加したヤングケアラーの「つどい」がふうせんの会でした。そのつどいに参加するまでは、ケアが終わってからは社会人として生活する中で、誰かにケアの話を打ち明けることはありませんでした。そこで初めて人にケアの話をすることができて、「こは周りの人が自分の経験を受け止めてくれる場所なんだと感じました」「こういう場所を守ってほしい」「あり続けてほしい」と思ったのをきっかけに、自分もその力になればと思うてふうせんの会に入りました。

Q:ふうせんの会でどんなことがしたいですか？

いま僕は「レスパイト事業」に携わっています。ヤングケアラー支援の先進国であるイギリスではヤングケアラーが当たり前に集まれるイベントが開催されていますが、日本は違う。家族の状況にかかわらずもっとみんなが気兼ねなく集まれる、楽しめる企画を發展させ、続けていきたいと思っています。

また、一般の方や地域住民の方にヤングケアラーのことを知っていただくための啓発活動も重要だと考えています。周囲の理解がないと当事者が声をあげるのには難しいんです。啓発と合わせて、当事者の方が「自分だけじゃないんだ」と思ってもらえるような場所づくりにも力を入れています。

Q:家族のケアをしている子たちに

メッセージをお願いします

自分も経験してきたけど、誰かに話すのはまず一言目にエネルギーがいるし「気持ち」を言語化するのも難しいと思います。でも、それを話して理解してくれる人や分かってくれようとする人は必ずいるので、頼れる人に頼ってほしいです。

大人の方には、支援をするということも大事ですがまずはヤングケアラーにそっと寄り添い、そばで見守り続けてくれる大人でいてほしいです。



ふうせんメンバーが日常の写真を持って、その時に思っていたことをつぶやくコーナー

ふうせんメンバー ポートレート

このたび大阪商工信用金庫様の第14回さくも賞にふうせんの会が選ばれました。名誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。5月11日に行われた授賞式には当会も参加させていただきました。今後も頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



お知らせ

ふうせんの会では、随時下記の活動を行っております。申し込み方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

ヤングケアラー同士で交流する・つながる

つどい

開催日時 原則奇数月の第2日曜午後
※日時は会場事情等で変更場合があります。



対象 中学生以上の現役または元ヤングケアラー・若者ケアラー、支援者(支援者の方は人数の制限があります)

ヤングケアラー当事者のためのオンラインサロン

ふうせんカフェ

開催日時 原則偶数月の第3水曜 19:30~20:30
(zoomにて開催)



対象 中学生以上の現役または元ヤングケアラー・若者ケアラー

ヤングケアラーやふうせんの会について知りたい人へ

ヤングケアラーを知るセッション

開催日時 原則月1回(時間は16:00~17:00を予定) ※不定期のため、HPにてご確認ください。
(zoomにて開催)



対象 ヤングケアラーに関心があり、ヤングケアラーや当会の活動についての基礎的な情報を得たい方

新規会員・ご寄付を募集しています!

ふうせんの会は、個人・団体会員、ご寄付を募集しています。周りの方にもご紹介いただけたらとっても嬉しいです。
“ヤングケアラー・若者ケアラーのために何かサポートがしたい、もっと知りたい、周りに広めたい”
こんな想いの方にぜひ!年会費は一口1,000円から。会費は「つどい」などを支えています。



Special thanks!!

皆さまよりいただいたご寄付のおかげで、様々な活動につなげることができました。改めて心より御礼を申し上げます。

新規御年会員

青木淳さま、Oivallusさま
株式会社スワン フレーシュ千住さま
黒光さおりさま、中村光男さま
本願寺津村別院さま、牧口明さま、松村史郎さま
まねきねこさま、村上真栄さま、若林智子さま

板山満さま
椎名みゆきさま
牧口明さま
ほか、匿名希望の皆さま
ご入会いただきありがとうございました!

ほか、匿名希望でご寄付下さった皆さま

(五十音順)

特定非営利活動法人 **ふうせんの会**
<https://ycballoon.org>



06-4790-8881
info@ycballoon.org



〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目 2-20 2階 市民活動スクエア CANVAS 谷町 F09 (大阪ボランティア協会 CANVAS)

Google Map

NEWS LETTER



ヤングケアラー・若者ケアラーに心のつながりを

ふうせんの会



「つどい」20回記念たき火イベントのご報告

この度、任意団体時代からの「メイン事業であった「つどい」が第20回目を迎えました。これまで継続して「つどい」を開催できたのも、ひとえにご参加くださったという当事者のみなさま、そして応援してくださっているみなさまのおかげと心から感謝しています。今回は20回目を記念して、11月25日に豊中市の服部緑地で「たき火イベント」を開催しました！小さなたき火をいくつか作り、それを囲んでお話をしたり、焼き芋や焼きマシュマロを楽しんだり。同じ火を囲みながらそれぞれ思いの時間を過ごせる機会となりました。



「ご参加いただいた方からは「何も気を遣わずありのままに話せた」「有意義な時間だった」と嬉しいお声もいただきました。ありがとうございました。今後みなさんに喜んでいただけるようなイベントを企画していきますので、応援よろしくお願いいたします！

※今回のイベントは、大阪ボランティア協会さま・72時間サバイバル教育協会さまのご協力のもと、「AWS In Communities 助成事業」により行われました。



第2回レスパイトイベント

「夏のおたのしみ会」を開催しました！

昨年8月18日に、中高生向けレスパイトイベント「夏のおたのしみ会」を開催しました。「レスパイト」とは「小休止」の意味があり、参加してくれる人たちが普段の生活から離れて「ほっとひと休み」して楽しんでくれたら...という思いで毎回企画をしています。

今回はリクエストの声もあって、「流しそうめん」と「スイカ割り」を実施しました！ほかにも、かき氷、焼きとうもろこし、フランクフルト、焼きそばなどの縁日風の食べものを準備。みんなで夏を感じる、少し非日常的な体験となりました。

当日は真夏の暑さの中ではありませんでしたが、みんなでお声掛け合いながら楽しく過ごすことができました。参加してくれたみなさんには、おしゃべりしたり、ゲームをしたり、休憩をしたり、それぞれのペースで過ごしてもらえらることを大切にしています。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、おかげさまで大盛況の内にイベントを終えることができました。ご協力くださった皆さま、ありがとうございました！！

この冬には第3回目のイベントを開催しますので、次回の報告もどうぞお楽しみに。



新入職員のご紹介



昨年8月から、佐治明子が新たな職員としてふうせんの会の事務局に加わりました！
入職してから今の心境や、ヤングケアラー支援への思いを聞いてみました。

Q.自己紹介をお願いします

元々は映画業界で宣伝の仕事をしていましたが、仕事を辞めて単身カナダに渡り、帰国後は大学で留学生支援に携わるようになりました。留学生用の合理的配慮のスキームを構築するなどした経験や、障害のある家族への想いから社会福祉士の資格を取得して今に至っています。趣味は、散歩・映画・本、ひとり旅です。

Q.ふうせんの会に入職された思いを教えてください

私自身、身近に障害のある家族がいたこともあり、以前から家族のケアをする人への支援には強い関心がありました。また、大学に勤務していた頃に学生さんたちとかかわる中で、若者たちが希望を抱くことや、自由に自分の人生を選択できる機会を平等に与えられていることの大切さも感じていました。そういった思いが重なり、ふうせんの会に入職しました。

Q.家族をケアする人たちにメッセージをお願いします

今の社会では、家族のケアについてなかなか話しくいところもあるかと思いますが、つらかったら、その思いを誰かに伝えてほしい。そうは思うものの、話しくい気持ちもわかるし、言ってもわかってもらえないんじゃないかという不安や、言っただけ何も変わらなかったという経験もあるんだと思います。ただ世の中には、話してわかってくれる人はいて、そういう「わかってくれる人」を増やすことが私たちの役割でもあります。

家族のケアへの思いをわかってくれる人、想像してくれる人、孤独を感じなくていいような社会を目指して、私がんばっていきなさいです。



合宿研修の報告



昨年10月7・8日に合宿研修を行いました。

研修1日目の午前は、一般社団法人ケアラーワークス・代表理事の田中悠美子先生をお招きして、「ピアサポートの特性」について考える時間をいただきました。とても内容が濃い上にわかりやすく、私たちもその日から意識を変えていけるような実践的な研修でした。

午後からは、ふうせんの会の現状について理解を深め、今後の展開を話し合う場を設けました。ほかにカードゲームを使ったレクリエーション研修をして楽しんだり、翌日は「支援者としての基本姿勢」についての研修を行ったり、充実した2日間を過ごしました。

この研修で得たことは、みなさまとのかかわりの中で活かしていけるものと感じています。これからも「心の中のお守り」にしていただけのような団体を目指して活動していきます。



ふうせんメンバーが日常の写真を撮って、その時に思っていたことをつぶやくコーナー

ふうせんメンバー ポートレート

11月23日(祝)に「ひらかた社協ふくしフェスティバル」に参加しました。ふうせんの会のパネル展にもたくさんの方々にご来場いただき嬉しかったです。私たちの想いがひとりでも多くの人に届いていたら嬉しいです。当日足を運んでくださったみなさま、お世話になったみなさま、ありがとうございました！



お知らせ

ふうせんの会では、随時下記の活動を行っております。申し込み方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

ヤングケアラー同士で交流する・つながる

つどい

開催日時 原則奇数月の第2日曜午後

※日時は会場事情等で変更する場合があります。

対象 中学生以上の現役
または元ヤングケアラー・若者ケアラー、支援者(支援者の方は人数の制限があります)



ヤングケアラー当事者のためのオンラインサロン

ふうせんカフェ

開催日時 原則偶数月の第3水曜 19:30~20:30

(zoomにて開催)

対象 中学生以上の現役
または元ヤングケアラー・若者ケアラー



ヤングケアラーやふうせんの会について知りたい人へ

ヤングケアラーを知るセッション

開催日時 原則月1回(時間は16:00~17:00を予定)
※不定期のため、HPにてご確認ください。

(zoomにて開催)

対象 ヤングケアラーに関心があり、ヤングケアラーや当会の活動についての基礎的な情報を得たい方



新規会員・ご寄付を募集しています！

ふうせんの会は、個人・団体会員、ご寄付を募集しています。周りの方にもご紹介いただけたらとても嬉しいです。

“ヤングケアラー・若者ケアラーのために何かサポートがしたい、もっと知りたい、周りに広めたい”

こんな想いの方にぜひ！年会費は一口1,000円から。会費は「つどい」などを支えています。



寄付ページ



Special thanks!!

皆さまよりいただいたご寄付のおかげで、様々な活動につなげることができました。改めて心より御礼を申し上げます。

青木 淳さま、今井 静夫さま、大阪ガス株式会社さま、日本イーライリー株式会社さま、まねきねこさま
ほか、匿名希望でご寄付下さった皆さま

新規個人会員 石脇 智広さま、岡部 俊三さま (五十音順)

ご入会
いただき
ありがとうございました！

特定非営利活動法人 **ふうせんの会**
<https://ycballoon.org>



ホームページ



@yc_balloon



06-4790-8881
info@ycballoon.org



Google Map

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目2-20 2階 市民活動スクエア CANVAS 谷町 F09 (大阪ボランティア協会 CANVAS)

中高生世代対象

毎月開催

オンラインサロン

ふうせんルーム

生活に役立つ本たち マンガもあるよ！

家と学校以外で
一息つきたいなあ～

いろんな子が
いるな～

やっと
一人だけの時間…

パソコン
やり方わかる？

今日
お父さんの機嫌
悪いかも…

茶たちのごはん
作らなきゃ

どうしたの？

お母さんも心配だけど、
お姉ちゃんも最近…

話聞くとよ！

しんぞい～
ちよつとだけ寝よう

「自分と同じように家族のお世話をしている中高生と話してみたい」「家族のお世話をしてきた・している人の話を聞きたい」そんな中高生世代のみんなが集まる

オンラインサロン

家族のお世話や家庭のお手伝いをしている中高生たちが集まれる場所があります。自由におしゃべりしたり、ミニゲームをしたり、ゆっくり落ち着いた時間を過ごしませんか？



Zoomにて毎月1回開催

開催日はホームページ & Twitter を見てね！

参加方法はみんなの希望に合わせてます！例えば、

- ・ふうせんルーム(現地)での参加
- ・どういう人と同じグループになりたいか
- ・カメラオフの参加
- ・匿名(本名を出さない、ニックネームなど)での参加
- ・他の人の話を聞きたい、ニツクネームなど(話したくない時は話さなくてもOK！) など

要予約

参加方法 HP、メール、SNS からお申込みください。



ホームページ



大阪市YCBPサーガ



@pia_osaka



お問合せ ☎ 06-4790-8833

✉ pia_osakacity@ycballoon.org

特定非営利活動法人

ふうせんのお会

<https://ycballoon.org>



ホームページ

ふうせんのお会は、家族のケアを担っている(いた)子ども・若者や、ヤングケアラーに関わる専門職が集まってできた団体です。
2019年12月に任意団体として活動を始め、2022年2月にNPO法人を設立しました。
ヤングケアラー・若者ケアラーが安心して交流できる場をつくり、彼らが夢をもって自分らしく生きていけるような社会を作るために、活動しています。



Google Map



〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目2-20 2階 市民活動スウェーアCANVAS 谷町F09 (大阪ボランティア協会CANVAS) ボトルコーヒーさんのあるヒルの2階です！

活動への ご協力お願いします



ふうせんの会

fusen no kai

私たち、ふうせんの会では
子ども・若者の居場所作りや様々な活動を実施するための
寄付金を募集しております。（1口：1000円～）

何とぞご支援のほど、よろしくお願いいたします。

一回のご寄付は
こちらから



※カード決済・銀行振込対応

毎月のご寄付は
こちらから



※カード決済のみ

<主な使い道>

🎈 ヤングケアラー・若者ケアラーが 多様な経験を獲得するための余暇活動



定期的なレスパイト事業の開催
(子どもらしく過ごす機会の提供)

8月は夏祭り風に
開催!

5月：ピザパーティー、スライム作り
8月：流しそうめん、スイカ割りを実施🍉



🎈 必要な連携機関への同行支援

行政機関への付き添い、
進学先の見学、
相談場所への交通費等
必要に応じた費用



🎈 普及・啓発活動

リーフレット等、啓発物の作成



特定非営利活動法人 ふうせんの会

〒540-0012 大阪市谷町二丁目2-20 2階

市民活動スクエアCANVAS谷町 F09

<詳しくはこちら>

【TEL】 06-4790-8881

【HP】 <https://ycballoon.org>

